

## ■シフトレンズを使っでの多分割撮影を

### Photoshop の「Photpmerge」機能を用い結合

シフトレンズを使っでの多分割撮影画像を Photoshop に標準装備の「Photpmerge」機能を用いて繋ぎ合わせる方法は、分割撮影した画像に狂いが少なく精度の高い画像が得られる。

(レンズをシフトさせるため、分割撮影した画像には必ずレンズシフトにともなう微妙な視差があるが、三脚上で角度を変えて撮る方法よりも正確。また、近景と遠景がある場合その視差により矛盾が出る)

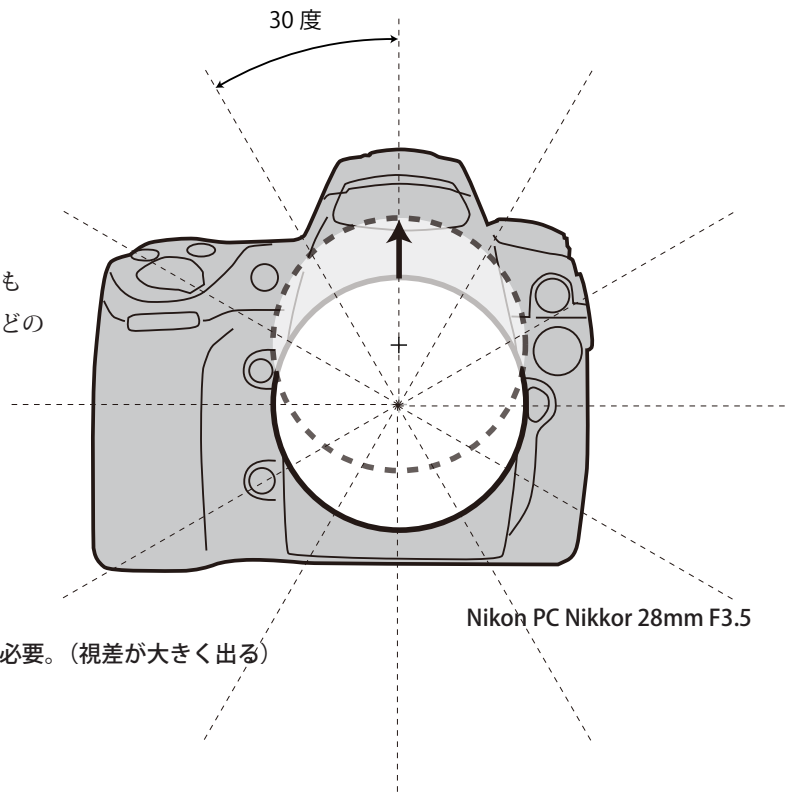
## ■シフトレンズを用いたタイリング撮影 + photomerge 合成

本来は、建築写真等、垂直 / 水平を保ったまま被写体を構図する場合に用いられる。  
シフトレンズは下図の様に、レンズを平行移動させる機構を持っている。  
その機構を利用して被写体を分割撮影して、photoshop の自動処理「photomerge」で合成し、  
より高解像度の画像を得る事が出来る。

また、合成した画像には複数の瞬間が  
混在する事になる。

撮影した一枚一枚の画像には視差が  
できる。(微妙に消失点がズレている)  
光学的には正しい合成とは言えず、  
「photomerge」でうまく合成出来たとしても  
必ずどこかに認識できるか、できないかほどの  
歪みを持った画像となる。

この様にマイナスとも思える点もあるが、  
その点こそが、  
表現効果の可能性と言えるのではないかな。



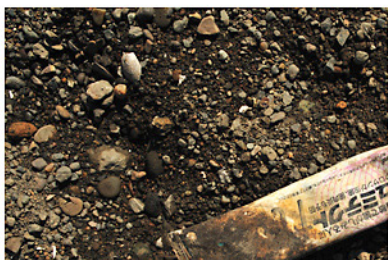
※被写体がかなり手前にある場合は注意が必要。(視差が大きく出る)

## ■ Nikon PC Nikkor 28mm F3.5 を用いてのタイリング撮影

Nikon PC Nikkor 28mm F3.5 は+方向に最大 11mm レンズを並行移動させることが出来る。  
レンズを並行移動させた位置のまま 360 度回転させる事ができる。

- ①絞りを f22 に固定する (ほぼパンフォーカスが得られる)
- ②レンズをシフトさせない状態 (通常位置) でピント合わせ  
絞り値を固定させたまま、解放絞りの状態にする為のリングが付いているので、そのリングを回し解放絞りの状態にしてピントを合わせる。
- ③露出を得る  
シャッタースピードを変えてゆき適正露出を得る。  
シャッターを切ってモニターで確認して見て、露出の微調整をする。  
(モニターで拡大表示させ、ピント / 被写界深度等も確認)
- ④以下の順に 13 枚の画像を撮影
  1. 中央で 1 枚
  2. 最大シフトさせた状態で 12 枚を 30 度づつ回転させ撮影 (30 度ごとにクリクストッパーがある)

●以下の様に、分割された画像を得ることが出来る

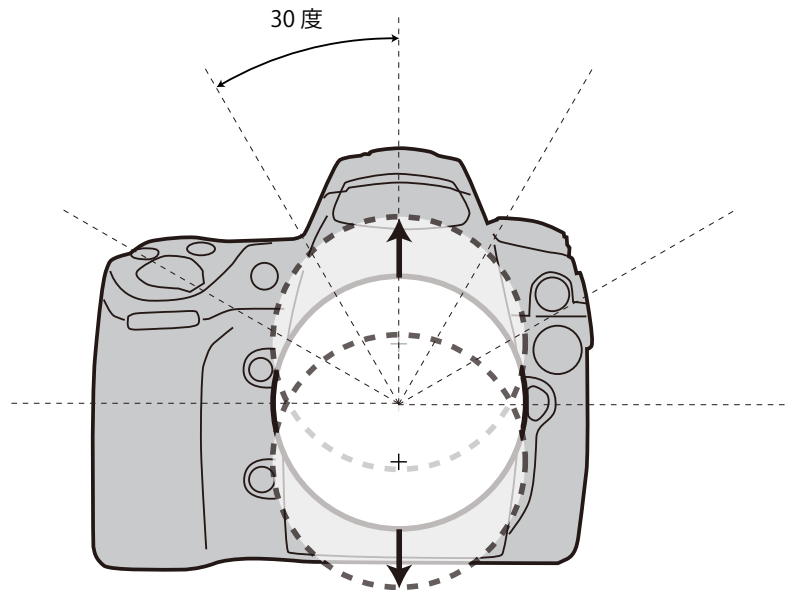


- photoshop の自動処理機能「photomerge」で合成します (レイアウトの中から「位置の変更のみ」を選択)



## ■ Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED を用いてのタイリング撮影

Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED は＋方向に最大 11.5mm レンズを並行移動させることができる。  
レンズを並行移動させた位置のまま、左右へ 90 度ずつで 180 度回転させる事ができる。



Nikon PC-E Micro NIKKOR 45mm F2.8D ED

### ①絞りを最小絞りロック位置 (L) に固定する (D3/D300/D700 使用時)

コマンドダイヤルで f32 を選択 (ほぼパンフォーカスが得られる)

### ②レンズをシフトさせない状態 (通常位置) でピント合わせ

絞り値を固定させたまま、解放絞りの状態でピントを合わせることが出来る。

### ③露出を得る

シャッタースピードを変えてゆき適正露出を得る。

シャッターを切ってモニターで確認して見て、露出の微調整をする。

(モニターで拡大表示させ、ピント / 被写界深度等も確認)

### ④以下の順に 13 枚の画像を撮影

1. 中央で 1 枚

2. プラスに最大シフトさせた状態と、マイナスに最大シフトさせた状態で 2 枚ずつを右に、30 度ずつ回転させ撮影 ----- 右に 90 度の位置までで 6 枚を撮影。(30 度ごとにクリックストッパーがある)

3. プラスに最大シフトさせた状態と、マイナスに最大シフトさせた状態で 2 枚ずつを、左に 30 度ずつ回転させ撮影 ----- 左に 90 度の位置までで 6 枚を撮影。(30 度ごとにクリックストッパーがある)